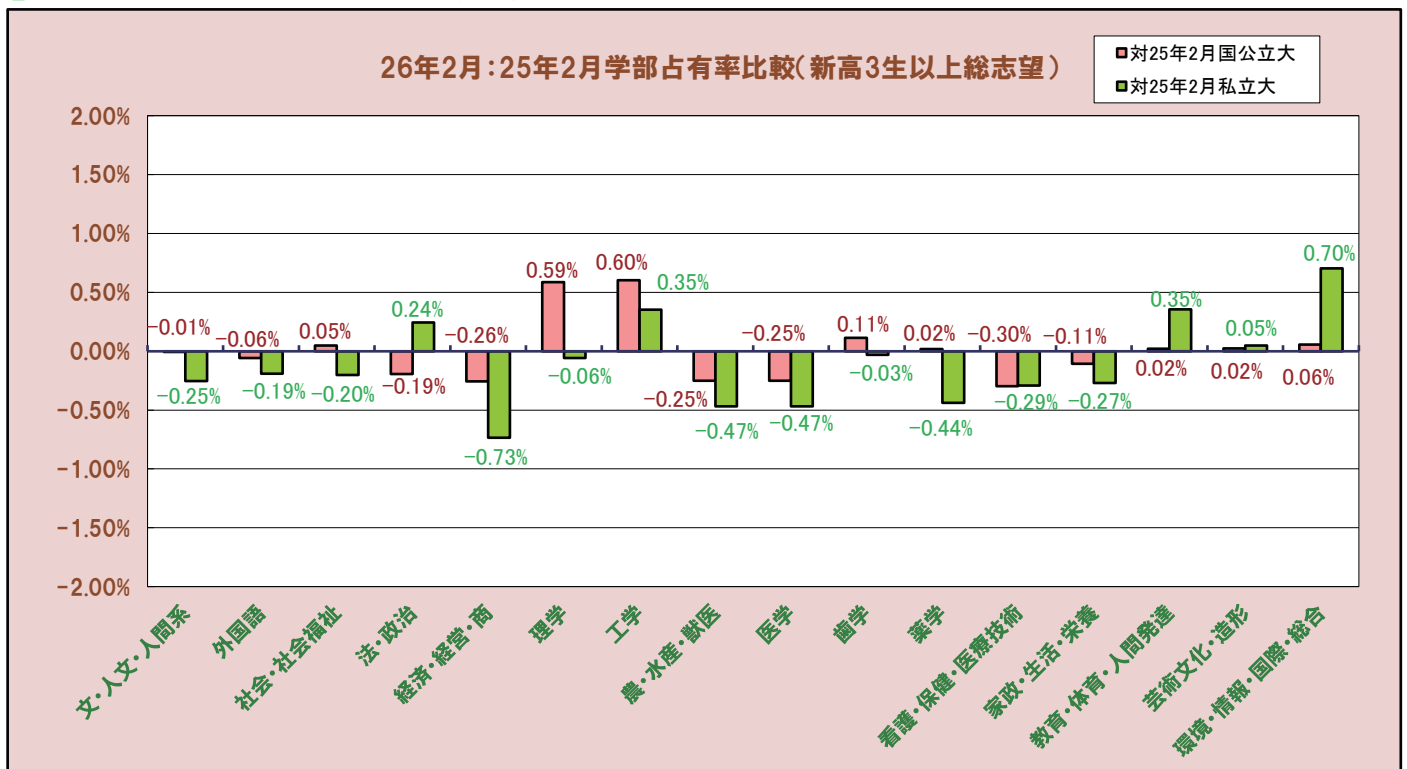


第1回 2月 共通テスト本番レベル模試

受験勉強の早期スタートで 全国のライバルに差をつけよう！

2月22日（日）に実施した「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」の新高3生以上の学部系統別の志望動向を、前年同時期に同模試を受験した新高3生以上との志望動向と比較した。
2026年度入試の戦いを間もなく終えようとしている先輩たちは昨年の今ごろ、どのような学問に興味を持ち、受験生としてのスタートを切ったのだろうか。
春休みを利用して基礎固めを行うことで、受験勉強の早期スタートを切ろう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	100	98	99
外国語	94	90	92
社会・社会福祉	103	95	98
法・政治	97	103	101
経済・経営・商	98	97	98
理学	106	99	103
工学	99	107	101
農・水産・獣医	110	115	110
医学	98	86	94
歯学	115	89	108
薬学	101	88	95
看護・保健・医療技術	94	91	93
家政・生活・栄養	84	68	76
教育・体育・人間発達	100	111	104
芸術文化・造形	106	105	106
環境・情報・国際・総合	101	112	107
うち情報	93	113	99
うち国際	101	113	109

■国公立大

人気回復していた文系の中でも志望者を集めていた法・政治系、経済・経営・商学系が頭打ちとなっている。一方で理系は、理学系や農・水産・獣医系、メディカル系も歯学系が人気となっているものの、看護・保健・医療技術系は苦戦が続いている。

■私立大

国公立とは異なり、メディカル系は軒並み志望者数が減っている。また、家政・生活・栄養系も大きく減少している。一方で、長年不人気傾向にあった、教育・体育・人間発達系の人気回復傾向にある。また、環境・情報・国際・総合も人気となっている。

時期的にまだ志望が決まっていない新受験生も多い時期ではあるので、今後の志望動向に注目したい。

※このデータは、2026年と2025年の「第1回 2月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の新高3生以上・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。